

# 高松琴平電気鉄道

21-1 Y・K

「高松琴平電気鉄道」は、太平洋戦争さなかの昭和 18 年 11 月 1 日に、高松電気軌道、讃岐電鉄、琴平鉄道の 3 社が、当時の国策である交通統制に沿って統合されたことにより誕生しました。香川県高松市を中心に、4 両編成で走行しており、地元の人たちの大事な移動手段となっています。線路幅は新幹線や阪急と同じ 1435mm ですべて直流電化されています。



## 【マスコットキャラクター「イルカ」の名前の由来】



マスコットキャラクター「イルカ」の名前の由来は、ことでんが、2001 年倒産をし、2002 年復活を果たした当時、会社復活のインタビュー調査が行われました。

当時ことでんの一番の問題点であった乗客への態度の悪さが問題となっており、質問の一つに「ことでんが要るか、要らないか」という質問があったそうです。しかし、住民から帰ってきたのは「鉄道はあるがことでんはいらない」という衝撃的なものでした。



この出来事をきっかけに、ことでんは、住民から認められるため「より良いサービス」を最高理念としました。「イルカ」をマスコットとし、「いるかいないか」と常に自分たちに問い続けることでよりよいサービスを乗客に提供しているのです。

### 【4つのレトロな列車】

ことでんにあるクリーム色と茶色で塗られた4両の車両は1925年から1928年にかけて誕生し、現在は、運行していないが、94年間現役で動き続けたことから、動く鉄道博物館として今もなお親しまれています。



#### 【① レトロ車両 - 20形 - 23号】



昭和49年から51年にかけて志度線に転属しました。昭和56年に3両が再び琴平線に移りました。2020年のシルバーウィークをもって引退となりました。

#### 【②レトロ車両 - 1000形 - 120号】



イベント列車としてイベント運用で活躍しています。

#### 【③レトロ車両 - 3000形 - 300号】



開業時から走り続けている車両で、大正15年にデビューしました。現在は、イベント列車としてイベント運用で活躍しています。

#### 【④レトロ車両 - 5000形 - 500号】



開業時から走り続けている車両で、イベント列車としてイベント運用で活躍していましたが、2020年のシルバーウィークをもって引退。

参考：ことでんグループ HP

レトロ (<https://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/gallery/date/date.html>) より引用

(<https://matcha-jp.com/jp/5929>)